

土地・不動産に関する行政情報・トピックス・学会誌情報

【審議会・委員会等の情報】

● 「第1回耐震・環境不動産形成促進事業のあり方検討会」を開催：国交省

国土交通省は、我が国において「2050年カーボンニュートラル」を目指すことが宣言されたほか、世界中でESG投資が一大潮流となる中、我が国の不動産分野においても脱炭素化・温室効果ガス削減に向けた取組やESG投資の促進が求められていることを踏まえ、耐震・環境不動産形成促進事業のあり方について検討を行う会議を立ち上げた。3月31日（木）に、第1回検討会を開催し、耐震・環境不動産形成促進事業等について検討を行った。

[第1回耐震・環境不動産形成促進事業のあり方検討会：国土交通省](#)

● 「建築BIM推進会議（第8回）」を開催：国交省

国土交通省では、3月24日（木）に建築BIM推進会議（第8回）を開催し、「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン」の改定や、各部会及び関係団体の活動状況の報告等を行った。

[建築BIM推進会議（第8回）：国土交通省](#)

● 「国土審議会第6回及び第7回計画部会」を開催：国交省

国土交通省は、新たな国土形成計画等について調査審議を行うため、3月3日（木）及び23日（水）に、国土審議会第6回及び第7回計画部会を開催した。第6回ではカーボンニュートラルへの対応及び交通ネットワークについて、第7回では防災・減災、国土強靱化について、それぞれ議論がなされた。

[国土審議会第6回及び第7回計画部会：国土交通省](#)

● 「第4回不動産IDルール検討会」を開催：国交省

国土交通省では、不動産関連情報の連携・蓄積・活用の促進による、不動産業界全体の生産性向上や不動産の流通・利活用の促進とともに、不動産DXを推進する上での情報基盤整備の一翼を担うことを目的に、各不動産の共通コードとしての「不動産ID」に係るルールを整備するため、昨年9月に「不動産IDルール検討会」を立ち上げたところ、3月17日（木）に、第4回検討会を開催し、本検討会の中間とりまとめに向けた議論を行った。これを踏まえ、中間とりまとめを取りまとめるとともに、3月31日（木）に、「不動産IDルールガイドライン」を公表した。

[第4回不動産IDルール検討会：国土交通省](#)

● 「第5回不動産分野の社会的課題に対応するESG投資促進検討会」を開催：国交省

国土交通省は、3月16日（水）に、第5回不動産分野の社会的課題に対応するESG投資促進検討会を開催し、不動産のS（社会課題）分野における評価項目等及び中間とりまとめ案について、議論を行った。この結果、中間とりまとめとして、わが国における社会課題と、それに対応した不動産分野における取組の評価項目等について整理し、3月30日（水）に公表した。

[第5回不動産分野の社会的課題に対応するESG投資促進検討会：国土交通省](#)

● 「スマートシティモデル事業等推進有識者委員会（第2回）」を開催：国交省

国土交通省では、AI や IoT 等の新技術等を活用し、まちの課題の解決や新たな価値を創出することで、都市生活の質の向上を目指す「スマートシティ」の社会実装に向けて、スマートシティモデル事業として、先駆的な取組への支援をしている。今回、先駆的取組の全国への横展開を見据え、3月14日（月）に、「第2回スマートシティモデル事業等推進有識者委員会」を開催し、これまでのモデル事業における取組から得られた知見・課題等のとりまとめに向けた議論を行った。

[スマートシティモデル事業等推進有識者委員会（第2回）：国土交通省](#)